

12月



# 新羽小だより

令和5年(2023年)11月28日  
第596号  
横浜市立新羽小学校  
Tel 543-8871  
Fax 543-2915

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nippa>

## 「ひとり」と「みんな」

校長 佐藤 恵子

一気に季節が進み、冬らしい気候となりました。

11月7日の新羽音楽発表会では、多くの保護者様にご鑑賞いただき誠にありがとうございました。子どもたちは、おうちの方からの温かい励ましと程よい緊張感の中で、練習の成果を堂々と発揮し、心に残る発表会をつくることができました。翌11月8日には、港北公会堂で港北区児童音楽交流会が開催され、3年生が学校の代表として参加しました。本校3年生は、プログラム1番にふさわしく元気で笑顔はじける素晴らしい発表をしました。最後は会場の全員で「今日の日はさようなら」を歌い、お互いにハミングで見送りながら手を振って会場を後にしました。近隣の学校と音楽を通して心をつないだ音楽会でした。



音楽発表は、学年やクラスで心をつにし、同じ目的に向かって一人ひとりが協力し合う学習活動です。音楽のすばらしさを学ぶとともに、仲間意識、達成感、自己肯定感を育てます。一人ひとりの頑張りをみんなで見守り、みんなで何かを作り上げる学習のよさを改めて感じた2日間の音楽発表会でした。



11月15日、港北区内の小学校から多くの教員が新羽小学校に集まり、情報・視聴覚教育について学ぶ授業研究会を行いました。1年1組、3年1組、6年1組では、担任がICT機器を効果的に活用した授業を公開しました。そこには、たくさんの情報の中から自分に必要なものを選び、自己表現に生かす子どもたちの姿がありました。また、画面上に自分の思考過程を残し、整理しながら自分の考えを深める姿もありました。一人一台の端末の良さは「個に寄り添う」点にあります。自分のやりたいことにICTをとことん付き合わせる力がICT活用力だと思います。子どもたちを見ると、ICTの助けを借りて一人ひとりの「やりたいこと」を形にする力が大きく育っていることがわかります。実に頼もしい姿です。さらに、周りの人と考えや思いをやりとりしながら、互いの「やりたいこと」を認め合い、価値づけ、一人ひとりが自信へとつなげています。

個人の頑張りをみんなで見守り、みんなで重ね合わせた音楽会。ICTを使って個々の成果を高め、互いに認め合い深め合った授業研究会。「わたしがかがき みんながかがやく 新羽の子ども」の素敵な姿でした。